

どうやって栓をしているの？ラムネ瓶！

ビー玉を使って栓をする瓶はイギリスで発明され、英語で「コッド・ネック・ボトル」、日本では「玉詰め瓶」と呼ばれています。

ビー玉が入った瓶を機械に通し、自動で炭酸飲料を入れて栓をしますが、実は満杯のタイミングで**瓶がひっくり返される**のだそうです。

ビー玉は重いので沈んで飲み口を塞ぎます。その後、瓶を元に戻しても**炭酸ガスの圧力**でビー玉は密着したままになります。飲むときはビー玉を押し込んでガスを抜きます。

昔ながらのガラス瓶はビー玉が取り出せず、瓶は再利用されます。最近ではペットボトルが増え、飲み口を外してビー玉を取り出し、**分別して**リサイクルできるようになっています。

●栓をする仕組み（イメージ）

炭酸を入れ ひっくり返すと 炭酸の圧力で密着！

